

【機密性2】

裁判員経験者と法曹三者の意見交換会

日 時 令和2年9月18日（金）午後1時30分から午後3時30分まで

場 所 千葉地方裁判所大会議室（新館10階）

参加者等

司会者 岡 部 豪 （千葉地方裁判所刑事第1部判事）
裁判官 中 村 海 山 （千葉地方裁判所刑事第1部判事）
裁判官 野 村 詩 穂 （千葉地方裁判所刑事第1部判事補）
検察官 吉 田 稔 （千葉地方検察庁検事）
検察官 丹 下 裕 康 （千葉地方検察庁検事）
弁護士 足 立 啓 輔 （千葉県弁護士会所属）
弁護士 上 田 真 生 （千葉県弁護士会所属）

- 1 番 裁判員経験者
- 2 番 裁判員経験者
- 3 番 裁判員経験者
- 4 番 裁判員経験者
- 5 番 裁判員経験者
- 6 番 裁判員経験者
- 8 番 補充裁判員経験者

議事要旨

別紙のとおり

【機密性 2】

(別 紙)

【司会者】

それでは始めさせていただきます。私、千葉地方裁判所第1刑事部の岡部と申します。今日は司会を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

今日は裁判員経験者の方7名に来ていただいております。裁判員経験者の方が6名と、補充裁判員の経験者の方1名ということでございます。また、どういう事件だったかについては、御発言の際に御紹介いただければと思っております。

それでは最初に私のほうから今回のテーマ、裁判所のコロナ対策と裁判への参加というテーマを選ばせていただいた背景について説明させていただきます。

御承知のとおり、コロナウイルスの感染拡大に伴いまして、様々なところで社会活動が止まったりしているわけですけれども、裁判員裁判に関しまして、千葉地裁では、本年3月からコロナを理由として裁判員の選任手続を取りやめておりました。その結果、3月からは新たな裁判員裁判が開かれない状態になっています。2月中に選任手続を終えて、その後、公判手続を3月までやっていた事件もあるんですけれども、新たには3月からはやらなくなったということでございます。そして緊急事態宣言が終了しました後、今年の5月28日から、中断していた裁判員選任の再開となって、また新たに裁判員裁判を再開したということでございます。

再開をしてみて、我々裁判官が気付いたことがございます。やはり3か月間、裁判を止めていたものですから、その間、事件がたまってしまいまして、それで通常の年以上にハイペースで事件を入れさせていただいて事件処理に取り組んでおります。コロナ後である今年と、コロナ前である前年の6月と7月で比べまして、大体3倍の事件を入れさせていただいて、それだけのハイペースで事件を進めさせていただいております。その結果、裁判員候補者に選ばれる方、選定された方もかなり増えました。同じように、約3倍に増えたということです。

続いて、県内の方で裁判員を務められる状況にある方、つまり、辞退原因がない方というのは、ある程度、数が限られていると我々は考えています。そうしますと、

【機密性 2】

そういう状況で選定人数を3倍に増やしたわけなので、普通に考えれば、選定人数を増やしたほどは出てこられる方は多くなないと、だから、選定の数を3倍にしても、出てくる方は3倍には達しないだろうと推測したわけです。

また、コロナ禍において、これまでのような仕事とか介護とかを理由とした辞退のほか、コロナ自体が怖い、あるいはコロナに感染するリスクが仕事や家庭にかなり差し支えると訴える方も当然増えることが予想されますし、裁判員裁判に参加するということは原則としては公共交通機関を利用することになりますので、それだけ感染リスクを負うということですね。そうすると、そういうことを理由としても、辞退される方が増えるだろうと、このように予測をしておりました。

実際に、千葉地裁ではそういう方の申出に対してはかなり柔軟な取扱いをしております。特に無理強いをするとか、そういうことはないんですけども、ところが、出席された方の数を見てみますと、3倍以上に増えている。予測では減ると思っていたのに実際は増えているんですね。

それから、選任手続に出席された後にまた更に辞退事由があったかとお尋ねする機会があると思います。辞退されなかった方から抽選にさせてもらっているわけですが、通常ですと、選任手続に出席された方の中からある程度の数の方が、かなり突発的な理由で辞退せざるを得なくなったと申し出られて辞退される方もいます。これも、事前の予想ではそういうことが増えるだろうと思っていたんですが、逆に辞退をする方は減っていることになります。それで、大体選任手続に出席された方は3.2倍、辞退しなかった方で見ると、大体3.4倍ぐらいに増えています。

要するに、これまでに選任手続に出席される方は同じ時期に比べて、大体7パーセントぐらい、それから、辞退しなかった方で見ると、大体13パーセントぐらいも増えているということなんですね。どうしてこういうことが起きるんだろうというのが、裁判官サイドではかなり不思議に思っているという問題意識があります。

それから、皆さん、多分お書きになったと思うんですが、裁判員を務められた後に、アンケートというのを実施しております。アンケートを実施して、裁判員に選

【機密性2】

ばれる前にどういうお気持ちでしたかというお尋ねをしております。例えば、積極的にやってみたくて思っていましたかとか、積極的にではないが、まあ、やってみたくて思っていましたかとか、あるいはあまりやりたくないと思われていましたかとか、あるいはもう本当にやりたくないと思われていましたかというお気持ちをお尋ねしています。

これが、昨年と今年を比べますと、明らかに積極的にやりたいと思っていたという方が非常に増えています。これが大体昨年の6割増ぐらいに増えています。逆に、やりたくないと思っていたという方が、4分の3ぐらい減っているような現状があります。裁判員裁判については出席率が低いとか辞退率が上がっている問題があるわけなんですけれども、今年、コロナの後に限って、ちょっとそれとは違う現象が起きてるので、いったいどういうことが起きているんだろうということを我々はちょっと不思議に思っていたんです。

今日は、このコロナの中で御参加いただいた裁判員経験者の方にお越しいただいておりますので、当時の状況などをお聞きすることによって、今我々が感じたような疑問点などを解消できればなというふうに思っております。

以上が我々の問題意識でございます、それでは、あらかじめお配りしておいた話題事項についてお話を伺っていただければと思っております。

ちなみに、今日7名の方がいらっしゃっていますが、私から向かってこちら側、1番から3番の方がコロナによって中断する前、大体2月頃選任手続に御参加されたメンバーということになります。こちら側の4名の方は、コロナの中断の後、大体6、7月に選任手続に御参加されたメンバーということになりますので、まず、その参加された時期によっても状況は異なると思いますので、その辺の詳しい御事情をお伺いできればなというふうに思っております。

それでは、1番の方からまず選任手続に来られた頃のコロナはどのような状況だったかということを御紹介いただいてもよろしいでしょうか。

【1番】

【機密性 2】

選任手続が2月28日ぐらいだったので、そのときはまだそこまで騒がれているような感じでもなく、みんなマスクもしてないという状態でした。その後、裁判自体が3月上旬ということで、そのときも、学校とか休校になった時期ではあったんですが、気になる方はマスクしてくださいという感じで、まだみんなマスクもしておらず、それぞれが少しずつ気にしている、気を付けているかなという状態でした。

【司会者】

ありがとうございます。では、2番の方、よろしくお願いします。

【2番】

私の場合は2月14日に選任手続だったと思うんですが、1番さんとほぼ一緒に、ほとんどの方はマスクをしているような状況ではなかったです。裁判自体は、2月末から3月中ぐらいまでだったんですけれども、私も初日はマスクをして法廷に出たんですが、思いの外、皆さん、記者の方とか、傍聴席の方とかもしていなかったもので、それ以降、私も着けずに裁判に参加しました。

【司会者】

ありがとうございます。3番の方、よろしくお願いします。

【3番】

僕は2月の最後の日に選任手続をしたんですけれども、1か月ぐらい前、地方で仕事をしてたときにコロナのニュースが結構社内で話題になってたので、1月下旬ぐらいからマスクをするような生活をしていました。選任手続のときもマスクをしてきたんですけれども、そのときは、周りは半分ぐらいしてたような気がします。裁判が3月に入ってから、確か裁判所のほうでマスクをしてきてくださいというふうに言われて、裁判中も基本的にはずっとマスクをしてました。評議室に行くときだけは外してましたけど、審理のときはずっとしてたような感じでした。

【司会者】

そうすると、選任のあった日は2月だけれども、裁判自体は3月になって、かなり途中で雰囲気も変わってきたような感じだったんでしょうか。

【機密性2】

【3番】

そうですね。特に判決が3月下旬だったんですよ。確か、3連休か何かありましたよね。そのときは、あんまりマスクはみんなしてなかった気がしましたね。ただ、僕はずっと普段からしてたような感じだったので、その判決のときもしてました。

【司会者】

ありがとうございます。では、4番の方、お願いします。

【4番】

私は、6月14日前後だったんですけども、そのときはもう入り口でマスク着用義務と手の消毒、あと評議室に入るときも消毒。マスクを外せるのはお昼御飯のお弁当を食べているときで、あまり話さないでくださいという状況でしたね。法廷に行っても、当然、皆さん100パーセントマスクで、という対応でした。

【司会者】

ありがとうございます。5番の方、お願いします。

【5番】

私も4番の方と同じ時期、6月2週目の後半のほうに入らせていただいたんですが、やはり時期的なこともあり、皆さん、マスクを着用されていましたが、裁判所の方も皆さんとても考えてくださって、パーティションの代わりになる仕切りを立てていただいたり、なるべく時間の区切りを考えた対応をしていただいている状況でした。以上です。

【司会者】

ありがとうございます。6番の方、よろしくお願いします。

【6番】

私は選任手続が6月17日で、そこから4日間程度の日程でした。千葉県の緊急事態宣言が5月末までだったんですけども、それが終了して割とすぐの時期でしたので、まだ裁判が本当にあるのかなと思うくらいの時期に実施されたという感じでした。もちろん三密を避けて、全部控室の席もかなり間隔を開けて座るというよ

【機密性 2】

うな感じで、マスクは食べてるときだけ外すような感じでした。

【司会者】

8 番の方、よろしくお願ひします。

【8 番】

基本的には皆さんと同じなんですけれども、そのときはまだ、ちょっと早いなどいう気はしました。でも、3 か月だから、少しは違うのかなと思って、参加しまして、内容的には皆さんと同じです。

【司会者】

ありがとうございます。大体皆さんが御参加されたときのコロナの感染状況が分かりました。

それでは、その感染状況を踏まえた上で、御自身が裁判員裁判に参加することについてどのようにお感じになられたか。例えば、そもそもなぜこういう時期に裁判員裁判を実施するんだろうかという疑問を感じられたのか、それとも、これぐらいの時期であればやっても当然だよなというふうに思われたのか。

また、裁判員裁判に参加することについて、まだコロナ禍が収束していない状況で御参加をいただいたわけですからけれども、参加したいという気持ちに何か心理的な影響があったのか、この辺も伺えればと思います。では、また1 番の方からよろしくお願ひします。

【1 番】

私は、裁判員に選ばれたいとずっと思ってたので、私はギリギリ参加させていただけだったので、すごく良かったなというふうに思いました。

コロナに関しては、まだそこまで騒がれているときではなかったんですけれども、ドアの消毒とかをすごくやってもらったり、休憩中に消毒を準備していただいたりという対策をしていただいたので、安心して参加することができて良かったなと思っています。

【司会者】

【機密性 2】

そうしますと、1番さんは、もともと裁判員をやってみたいというお気持ちが強くて、むしろ中止にならなくて良かったと感じられたということですか。

【1番】

そうですね、はい。

【司会者】

コロナが収束していないことは、参加意欲にはあまり影響はなかったというふう
に聞いてよろしいですか。

【1番】

そうですね、はい。

【司会者】

では、2番の方、よろしくお願いします。

【2番】

私も、積極的ではないですけども、裁判員はやってみたいと思ってました。実際、選ばれたときに、コロナはもう始まってたんですけど、まだそんなに影響がない時期だったので、コロナよりは仕事のやり繰りをどうしようかという方が優先でした。仕事の調整もうまくいきまして、実際参加してみて、評議室とかでもちゃんとアルコール消毒液があったんで、コロナに関しての不安は全然ない状態で参加することはできました。ただ、やっぱり仕事に影響するのがちょっと、かなりやり繰りが大変だったので、そちらだけが心配な状況でしたけど、あとは特に何も心配なく参加することができました。

【司会者】

そうしますと、2番の方は、お仕事の都合をつけることが専ら御心配されたこと
であって、コロナのほうはあまり御心配にはならなかった。

【2番】

ええ、全然心配なかったです。

【司会者】

【機密性 2】

心理的な影響はほとんどなかったということですか。

【2番】

ええ。もうゼロとっていいほど、なかったです。

【司会者】

3番の方、よろしく申し上げます。

【3番】

僕も、もともと裁判員をやってみたいなという気持ちがあったので、コロナによってその参加意欲が落ちたということは全然なかったです。実際、裁判所に来て、換気等もきちんとしてましたし、消毒とか、そういったのもきちんとされてたので、特に心配というのはなかったです。ただ、三密、人と接している距離が今みたいに離れてなかったの、そこは、今思えば近かったのかなと思いますけれども、そのときは、そこについてあまり意識はなかったです。

【司会者】

ありがとうございました。そうしますと、1番から3番の方、おおむね2月に参加された方はあまりコロナの影響は関係なかったという御意見が聞かれましたけれども。これは仮定の質問になってしまうんですが、例えば、呼出しがあった選任期日が2月でなくて、他の月だったら影響はあったと思いますか。その辺を伺いたいですけど、1番の方、どうでしょうか。

【1番】

それでも、やっぱり裁判員に選ばれたいと思ってたので、このコロナで仕事ができなくなってる中で、ちょっと意見を言い合ったり、人と話したいという思いが強くなって、むしろ参加したくなるのかなというふうに思います。

【司会者】

違う月でもやはり参加されただろうと。

【1番】

はい。

【機密性 2】

【司会者】

ありがとうございます。2番の方、いかがでしょうか。

【2番】

私も参加したと思います。

【司会者】

理由は1番の方と同じですか。

【2番】

そうですね。弊社も仕事はかなり時間制限というか、分散して働いていて、仕事のやり繰りはもっと簡単になるんで、参加したと思う。

【司会者】

ありがとうございます。3番の方、いかがでしょうか。

【3番】

僕も同じです。仮に6月に選任期日があったとしても参加したと思います。

【司会者】

それでは、6月以降に参加された4番の方。

【4番】

私も1番から3番さんと一緒に、もともとは裁判員をやってみたいと思っていて、テレビとか映画でしか見てない世界で、傍聴席にも行ったこともないし、実際の法廷というのも来たことがなかったんですけれども、できるのであれば、こんなチャンスはないなと思って。仕事も自分でやっている以上、どうにでも空けられるなと思って、むしろ登録してもらってもいいなというぐらいの意欲で来てました。

【司会者】

そうしますと、4番さんもやはり裁判員裁判に参加してみたいというお気持ちが強くて、あまりコロナのことで消極的に考えたことは。

【4番】

そうですね。1月から12月、どこでも来たと思います。

【機密性 2】

【司会者】

ありがとうございます。5番の方はいかがでしょうか。

【5番】

去年、登録の通知をいただいた時点で、この10年近く自分の周囲からは通知が届いたという話を聞いたこともなかったので、本当に驚いて、近親者であったり、会社の上司に相談するときも、本当にそんなのが来るんだというくらいの状態でした。その時点では、もう今のコロナ状況というのは全然何も話がなかったときだったので、来年1年間の間にどこかでまた通知が来るんだなという気持ちでいたんですが、実際、この6月に向けての案内を4月辺りに御連絡いただいたとき、本当に来るんだという、また2度目の驚きがありました。

案内は来たけれども、緊急事態宣言の関係で延びるかもしれないという通知も一緒にいただいていたので、これはないなと思っていました。この抽選の日の前にもう一度郵便で御連絡をいただいて、また延びるかもしれないので、そのときは近日中に連絡いたしますと、御丁寧に御通知もいただきまして。実際、私が抽選日に伺った6月2週の頃には、やめますという御連絡もいただかなかったので、一応会社にも都合をつけて、参加させていただきました。

ただ参加日が6日間ほどあったので、その期間休めるかと思ってたんですが、リモートワークの対応が社内でもできるようになっていた時期だったので、一応休みを取ることができました。

【司会者】

そうするとコロナが始まってリモートで仕事ができる体制が会社で整ったことによって、むしろ参加しやすくなっていたというふうに聞いてよろしいですか。

【5番】

はい。逆にそれがなかったら来れなかったのかもしれないです。辞退させていただく話を選任の日に御相談しようと思っていたと思います。

【司会者】

【機密性 2】

むしろコロナでプラスの影響というか。

【5番】

全くそういう方向になりますね。

【司会者】

裁判所側から繰り返し延期になるかもしれませんという通知があったということですが、でも結局は延期せずにやったわけですね。

【5番】

はい。

【司会者】

そのことについて、そのときは、どうして延期しないんだろうというふうには思われませんでしたか。

【5番】

もちろん、正直思いはしました。上司にも、その通知も来てるので延びると思います、やらないと思います、ただ1年間、選ばれる可能性があるということは変わってないので、また後々あるかもしれないですということは話していたんですが。

【司会者】

そうしますと実際にやることになったことには、ちょっと意外感があったということですか。

【5番】

はい、意外でした。

【司会者】

6番の方、お願いします。

【6番】

私は、スポーツクラブでヨガのインストラクターをさせていただいているんですけども、緊急事態宣言が出ていて、スポーツクラブも5月末までやはり休館してお休みだったんですね。私が裁判員に選任される日が6月17日だったものですか

【機密性 2】

ら、スポーツクラブも再開してすぐの時期で、スポーツクラブの担当をしているクラスを休むには代講を2週間ぐらい前までには本当は立てなくてははいけなかったんです。

この裁判员裁判が延期されるかもしれないという通知はいただいていたのですが、やりますという通知はなかなか来なかったので、裁判所に電話で聞いたところ、多分あると思いますというお返事だったものですから、代講を立てなくてはいけなくなり、ちょっとバタバタしてしまいました。その辺がちょっと難しい時期だったと思うんですよ。コロナが収束するという見込みもなかったし、でも裁判员裁判もやらなければいけないという、そういう御事情もいろいろあったと思いますので。

私自身は、裁判员をやってもやらなくてもどっちでもいいような感じで最初は思っていました。実際に当日くじ引きで当たったときは、何となくうれしい気持ちがあったので、喜んでやらせていただきました。ただ時期としてはちょっと微妙でした。

【司会者】

やるのかやらないのか、もう少し早く決めてほしかったなというお気持ちがあったんですかね。

【6番】

そうですね。私の仕事上の都合でいえば、そうでした。

【司会者】

この時期にやるということについては、何か疑問に思われたとか、そういうことはなかったんでしょうか。

【6番】

それは緊急事態宣言との関係や、いろんな御事情があると思いますので、しょうがないかなという感じでした。

【司会者】

そうしますとコロナの影響としては、なかなかやるのかやらないのか、はっきり

【機密性 2】

しないことが仕事の調整にちょっと良くない影響があったと。

【6番】

私の場合はそうでしたね。もう少しはっきり分かっていたらというか、もっと早く6月からは絶対しますよという通知が来ていれば、早くに代講を頼めて、スムーズにできたのかなというのありました。

【司会者】

それ以外は特に影響というのはあまり感じられなかったですか。

【6番】

コロナ自体が別に怖いとかっていうことではなかったですね。みんなマスクしていて、それが当たり前になっていましたので、一応消毒とか、そういうことを徹底的にすれば、三密もちゃんとやれば、裁判はできるのかなというのありました。

【司会者】

では8番の方、よろしくをお願いします。

【8番】

まず、仕事はリタイアしているので、コロナのことは全然影響ないと思ってます。選ばれたらやってみたいなという意識はありました。あの頃は老人のほうが目立つというふうに言われてましたので、そこだけは心配してたんですけども、それほど大きな影響はなかったです。

【司会者】

それでは次の話題に行きたいと思いますが、選任手続に参加されるに当たって、職場や家族の反応、こういうふうに裁判員に呼ばれていて、選任手続に出なければいけないんだけどもということ仕事や家庭の調整をされたと思いますが、そのときに皆さんの思いというのは今伺ったところなんですけれども、周りの方の反応というのはどういうことだったのでしょうか。ええ、こんな日にやるのというような反応だったのか、それとも、別に、ごく自然に受け入れてもらったのか、周りの方の反応を伺えればと思うんですが、1番の方どうでしょうか。

【機密性 2】

【1 番】

私は学校に勤めてるんですけど、3月から学校自体が休校になっていたため、この年度末で学級を空けるのは申し訳ないなと思ってたんですけど、むしろ休みやすく、何も心配事なく休めました。あと、職場の反応としては、この時期だけど、いい経験ができて良かったね、選ばれておめでとうという感じで、いってらっしゃいというふうに気持ちよく送っていただけました。休みも気持ちよく取らせていただきました。家庭でも、特に、まだその頃はあまりコロナですごく騒がれてたわけではなかったので、特に何も反応はなく、いってらっしゃいという感じでした。

【司会者】

職場では、コロナになって休みやすい環境にあって、特に調整に難はなかったということですか。

【1 番】

はい、そうですね。

【司会者】

2 番の方、いかがでしょうか。

【2 番】

家族は、みんながみんな、せっかくだからいい経験になるから、やってみなよという感じでした。会社にはメールで赤紙が来たって送ったんですけども、いつからいつまで、日にちだけ教えてと言われたので、日にちをメールで教えたんですね。そしたら上司がインターネットで事件の内容を調べて、多分この事件だな、行ってこい、行ってこいって感じだったんですよ。私はその事件の内容とかインターネットとか全然調べてなかったんで、裁判員裁判というのがどれくらいの期日でやるとか、全然分からなかったんで、こんな長くやるんだぐらいに思ってたんですけど、内容を聞いて、うーん、どうしようかなって、私が考えちゃったぐらいなんですけれども、周りの反応としては、特に駄目というのは誰もなかったですね。

【司会者】

【機密性 2】

そうしますと、周りの方の反応の中にコロナ特有の反応というのは特になかったですか。

【2番】

全然なかったです。

【司会者】

3番の方、いかがでしょうか。

【3番】

会社の方は、特にコロナがどうとかっていうのは全然影響なかったです。一番最初に選任手続の通知が来たのが去年の12月で、2月末に選任手続しますよというときに、もうそれで、裁判員に選ばれたというふうに思ってたので、3月も全部休む予定を12月の時点で決めてたんです。仕事の調整も全部うまく行ってたので、あまり影響はなかったです。

コロナについても、正直、あまり関係なかったかなというふうに感じました。

家族の方は、裁判の内容がちょっと重い内容だったので、妻が若干拒否反応を示してたのはありますが、子供については興味を示していたような感じでした。

【司会者】

3番さん、コロナとは関係なく、事件の内容に鑑みてちょっと御心配されたということですかね。

【3番】

そうですね。

【司会者】

具体的にはどういうことを御心配、こういう悪いことが起きるんじゃないかとか。

【3番】

そうですね。終わった後に逆恨みされるんじゃないかという心配がありました。

【司会者】

そういうことを御懸念されたと。4番の方はいかがだったでしょうか。

【機密性 2】

【4番】

仕事仲間がいろんな業種にいるんですけども、みんな、そんなのなかなか受からないぞって言って、仕事はいいからそっちへ行けという感じで、みんな協力してくれて。家族は、今日はどうだったのと気に掛けてくれて、周りはみんな協力的でしたね。

【司会者】

やはり4番さんもコロナの影響は職場でも家庭でもあまり感じられなかった。

【4番】

そうですね。全然関係なかったですね。

【司会者】

ありがとうございます。5番の方、いかがでしょうか。

【5番】

先ほどリモートワークが始まっていたおかげで対応できたというお話をさせていただいたんですけども、そのとおりで。仕事の調整の方は、抽選日だけで終わると思って、1日だけ休ませてもらえたら多分大丈夫だと思いますということを上司に伝えていました。抽選が終わった後、やはりリモートワークの都合上、他の人と入れ替わりの出勤の都合があり、その日以降、公判の日を休まなければいけなかったもので、期間がもうちょっと短ければとか、後々、他の参加された方に聞いたときに、もっと短い公判の日があるということもおっしゃられてたので、その辺がもし選択できてたら、会社にもっと相談しやすかったとか、そういうのはちょっと思いました。

たまたま今、自分が単身で、家族との影響が何もなかったもので、コロナのことも自分の管理を自分でできていれば問題ないと思ったので、参加させていただいた次第です。ただ、時期によっては、自分の家でも家族を介護してた時期があったので、その時期に抽選の話があったときは断っていたと思います。

【司会者】

【機密性 2】

会社はリモート体制になっていたということなので、比較的御自身も参加しやすかったし、会社の中も、そうでない時期よりは調整しやすかったということでしょうか。

【5番】

はい、時期的に。たまたまこの御時勢となっていたおかげで参加できたというのは間違いないと思います。

【司会者】

御家族の関係では、介護していた時期であれば、コロナというのはちょっと難しかったと思うけど、たまたま、そうでない時期だったので、調整がしやすかったということですね。

【5番】

はい。

【司会者】

6番の方、いかがでしょうか。

【6番】

私ももう仕事の代講を頼むときや、インストラクターの方とかマネージャーにお話をしたときは、裁判員裁判って本当にやってたんだねという反応が多くて。それで、選ばれたことを特別、私に才能があって選ばれたみたいに勘違いした人がいて、すごいねとかって言われたんですけど、別にくじで当たっただけだよという話で。そういうことで、みんな、せっかくだから後で話聞かせてね、みたいな感じで、積極的に賛成して送り出してくださったという感じでした。特にコロナだからというような影響はなかったと思います。

【司会者】

8番の方、いかがでしょうか。

【8番】

コロナに対しては何の影響もなかったです。逆に、終わってすぐ帰ったら、女房

【機密性 2】

から、千葉駅が新しくなってあんまり千葉駅なんか歩いてないんで、もっと歩いてくればいいのかというようなことを言われて、最後の日だけは少しゆっくり帰りました。家族には何も影響なかったです。

【司会者】

やはり奥様もコロナであるという時期の特殊性については、御懸念は特に示されなかったですか。

【8番】

そういう話はなかったんで、大丈夫だったんだろうと思います。

【司会者】

ありがとうございます。

それでは、話題事項として、3番のところまで終わりましたので、4番のところに入っていきたいと思います。

先ほど皆様のお話の中で、選任手続にまたくじがあるということを御存じないまま、もうその日に来たら、多分なるんだろうと思われて来た方と、いや、くじで多分外れるだろうから選任手続さえ出れば、後はやらないで済むだろうと思われている方と二通りいらっしゃったわけですがけれども。そうしますと、多分、実際に裁判員に選ばれて、これだけの期間、拘束されるということが決まったときに、御自身や周囲の方の反応もやはり、事前の心構えに応じてちょっと違ったものになったのかなというふうに思います。

更に今年はコロナという状況もありましたので、その辺はどういう反応だったのかというところが裁判所としても気になるところでございます。実際に裁判員に選ばれた後に御自身や周囲の方がどういう反応を示されたのかという話を伺えればと思います。また1番の方からよろしくお願いします。

【1番】

選任のときにくじがあるということは知っていたので、そのことを職場の上司に伝えた時点でおめでとうと言ってもらえて、感想聞かせてねとかって、すごく期待

【機密性 2】

値が上がってるのに、その選任手続きのくじで外れたらどうしようと、むしろそのことが心配で。これだけすごいねって言ってもらってるのに、結局、参加しないんだってなっちゃうのが、そのときどういう顔で職場に行けばいいんだろうというふうにはちょっと思いました。

コロナで中止にならないといいねというふうに、そんな反応が多くて。やっぱり周りにも本当に裁判員に選ばれた人を聞いたことがないという人がいっぱいいたので、宝くじが当たるよりすごいねというふうに言ってくれる方々がほとんどだったので、祝福されているという感じでしたね。

【司会者】

裁判員に選ばれたときは祝福されているような感じ。

【1番】

そうですね。外れなくて良かったなと思いました。

【司会者】

2番の方、よろしくお願いします。

【2番】

私もくじがあるのは知ってたんですが、実際、くじ引きの日に来てみて、こんなに人がいっぱいいるんだったら絶対当たらないなというのが第一印象で、実際当たってしまった後は、自分の番号を呼ばれたときからぼーとしちゃって、何が起こったんだろうみたいな感じだったんですけれども。

取りあえず、その日も急きょ休みをもらって出席したんですけど、会社に受かったという連絡をしたときに、上司は、マジか、本当に受かるとは思わなかったという反応でした。当時やりかけのプロジェクトもあって、それを誰にやらしてもらおうかというのをちょっと上司と相談しつつ、私の今後のスケジュールを決めるのに、スケジューラーの人にまず電話をしたら、そんなにいなくなると困るみたいな感じになっちゃって、そのやり繰りが大変だったんですけど、実際やり繰りが終わってしまったら、もういないものはしょうがないみたいな感じで。実際、参加

【機密性 2】

して、たまに休みとかあって、その日出社すると、どんなことをやってるのって、みんな興味津々みたいな感じ。特にその他の影響はないです。

家族は、ああ、そうなんだ、良かったねぐらいな感じで、メンタルだけ気を付けてというのは言われました。

【司会者】

そうしますと、あまりコロナの影響はなかったということですか。

【2番】

コロナの影響は全然なかったです。

【司会者】

ありがとうございます。3番の方はいかがですか。

【3番】

選任期日の前にもう3月は休む前提で考えていました。ですから、会社の中でも自分がいない状態で回すような準備をしていたので、特に影響というのはなかったです。どういう話をしたのかをちょっと教えてねとか、そういうことはいろいろ聞かれましたけど。

あと、コロナについての影響はなかったです。もともと私が平日休みというのもあったので、そんなに影響は大きくなかった状態でした。

【司会者】

ありがとうございます。4番の方はいかがでしょうか。

【4番】

当日、くじというのが分からないまま来て、もう受かったつもりで来てたんで。で、部屋に入ったら相当な人数がいて、その時点でもまだくじ引きというのにピンときてなくて、多分、案件数7件とか8件をこの人数で割ってやるのかなぐらいに思ってたんですけど。そこからまさか絞って6人って、これ、絶対受からないなど、当たらないなど思ってたら、番号が出たんで、あららと思って。ちょっと運が良かったのかなと思って。

【機密性 2】

なおかつ、初日から最後の判決までというのもピンときてなくて、もしかしたらこの中の人数で分割して参加するのかなというぐらいに思っていました。私の案件は3人いたので、外国人で通訳もいて結構長い期間だったので、それもなかなかないよって裁判長の人も言われてたんで、経験としては良かったと思っています。

【司会者】

そうすると、やはりコロナの影響はあまりなかったということですね。

【4番】

そうですね。コロナは全然。はい。

【司会者】

5番の方はいかがでしょうか。

【5番】

私、昨年、登録の連絡をいただいたときに、裁判員についてという漫画的な感じの読みやすい冊子を付けていただいていたので、実際参加するまでの流れというのは事細かに結構書いてあり、身の回りに本当に選ばれている方がいなかったの、あの冊子は参考にさせていただきました。

それもあったので、余計に抽選までで終わるんじゃないかと思っていたので、実際、抽選で当選になって、すごく周りも驚いていました。あと、実際、自分の社内と、親会社含め、グループ会社に本当に数人しか抽選で選ばれた方がいなかったの、就業手続に関する事象とか、そういう決め事がまだきっちりと確定していなかったの、早めに昨年通知をいただいた時点でこういうのが来てますということで相談しておいたのと、実際、抽選日と参加日がこのぐらいありますという日程表をいただいたことで、上司に相談ができたので、その点に関しては、会社の今後のそういう抽選をされた方に対する流れもできて良かったなと思いました。

【司会者】

実際には選ばれないだろうと思われて来たわけですが、実際には選ばれたことでかなり驚かれたというんですけれども、あらかじめ準備をしていたので、それほど

【機密性 2】

大きなハレーションは起きなかったというふうなことでよろしいでしょうか。

【5番】

その説明に、冊子に抽選とあって、抽選で選ばれた後はこんな感じで判決が行われますみたいに、ちゃんと書いていただいていたので、それに関しては特にどうしようみたいなことにはならなかったです。

【司会者】

5番さんもコロナの影響はほとんどなかったということですかね。

【5番】

はい。大丈夫です。ありがとうございます。

【司会者】

6番さん、いかがでしょうか。

【6番】

私も選任期日の日にくじ引きがまたあって、更に絞られて選ばれるということは知っていたんですけども、実際にその当日来て、定員の3倍ぐらいの方がいらっしやっただので、これはもう私はしなくて済むんだぐらいに思っていましたら、当選したという感じで。当選したことはうれしかったんですけども、選任期日の次の日のクラスは急ぎょ電話して、クローズということにしてもらったというようなことはありました。

家族にも周りの人にも今まで裁判員に選ばれた方が一人もいなくて、本当にみんな興味があったというか、頑張ってくださいというような反応が大きかったです。私の家族も、主人も、本当に選ばれたいと思っている人で、今でもそう言ってるんですけど、俺に来たら絶対やるからみたいな、来てくれというような感じで言ってるんですけど、なかなかそういう人には来ないんだなと思ってます。

【司会者】

やはりコロナの影響はなかったということでしょうか。

【6番】

【機密性 2】

はい。

【司会者】

8番さん、いかがでしょうか。

【8番】

コロナの影響は全然ありませんでした。実は、抽選があるよという手紙が来たときに、ちょうど女房の友だちがいて、その友だちの知ってる方もこういう抽選に行って、その人は外れたらしいんですけど、ということをちょっと聞いて。ああ、選ばれる人はそんなに多くはないんだぐらいで、特に選ばれたからどうかというのはございませんでした。

【司会者】

ありがとうございます。

それでは次の話題、裁判所のコロナ対策に移っていきたいと思います。最初に今回のコロナに対して、千葉地裁としてどのようにコロナ対策をしたかということをご紹介いたします。

まず選任手続なんですけれども、これまで千葉地裁には候補者待合室が二つあって、それぞれ別々の手続を行ってきたわけなんですけれども、コロナ禍を受けまして、二つの部屋を一つの部屋につなげまして、一つの大きな部屋にいたしました。このお部屋は大体80席入るところなんですけれども、その80席の定員のところに34席だけ設けて、席と席の間にソーシャルディスタンスを設けるというような対策を行いました。

それから、質問手続室というのがございまして、個別に質問される方とか、あるいは更に選ばれた方が宣誓の手続をした部屋があったと思うんですけれども、こちらの部屋も従前は横一列に並んでおりまして、横一列に並んでやるという感じだったんですけど、そうしますと、隣と隣との間が密になってしまうということで、これを二列にいたしまして、結果的にその隣の方との距離を保つようにいたしました。

それから、選任手続のときには、受付を待つ方が列をなして待つわけなんですけれど

【機密性2】

も、このときも、やはり二列の間に間隔を空けるように、立ち位置を線を引くなどして、ソーシャルディスタンスが保てるようにいたしました。

それから、受付事務室には、ビニールシートを設置して、担当者はマスクを着用して、カウンター越しに受付を実施するようというような対策も施しました。

それから、各待合室には消毒液を設置して、それを御利用いただくようにもいたしました。それから皆様が出入りするたびに、ドアノブ等の消毒も職員が行っておりました。

選任手続自体は、従前はDVDの視聴など、結構長い手続で行ってきたわけなんですけれども、省けるものは省こうということで、余計な質問というか、冗長になっていたところをカットいたしました。とにかく最低限の御説明だけをするということにしまして、皆様が選任手続の間、候補者待合室に入っている時間をなるべく短くすると、で、休憩時間を長めにして、その間に密でない空間でお過ごしいただく時間を長くするというようなタイムテーブルに変更いたしました。大体、選任手続ではそういう対策を行ってまいりました。

それから、公判と評議に関しましては、まず公判中は検察官、弁護士、それから証人、裁判官はもちろん、参加する人全ての方にマスクの着用をお願いして、入廷に際してはやはりアルコールで手指消毒を行う。傍聴人に対しても手指消毒やマスクの着用をお願いしました。それから、裁判官と裁判員の方、各裁判員の間にはアクリル板を入れて飛沫防止に使った。それから、休廷中はなるべく出入口を開けて、換気を励行した。それから、エレベーターについても、定員は13名なんですけれども、大体6名までというような人数制限を設けて、エレベーター内で密にならないようにすると。

それから評議なんですけれども、評議室のレイアウトも変更いたしました。多分、皆様が入るときには結構席の間が空いた状態の評議室になっていたと思うんですが、あれ、もともとは真ん中にぎゅっと集まるような感じで、隣と隣がくっつくようなレイアウトになっていた。あれも、部屋いっぱい椅子を広げて、参加者と参加者の

【機密性 2】

間の間隔が保てるようにレイアウトを変更しております。それから、評議もなるべく短い時間で休憩を入れて、その間は換気をするというような対策も施しています。

それから、裁判官と裁判員の間で、大体お昼休みに昼食会を行ったり、一緒にお昼御飯を食べに行ったりということも行われていたんですけども、それもコロナを受けてやめまして、評議室にお菓子とかお茶も置いてあったんですが、これらも撤去したということです。評議室もやはり期日が終わるごとに職員がドアノブとか、皆さんの座るところは大体消毒を行うということをやっていました。

大体そんなような対策をして皆様をお迎えしてたわけですけども、実際に参加されてみて、裁判所のコロナ対策は十分だというふうにお感じになったか、それとも、こういうところが不安だなというふうにお感じになったか、もし不安を感じたのであれば、こういうところをもう少し改善してほしいとか、その辺りの御感想をお伺いできればと思いますけれども。では、1番の方からお願いできますでしょうか。

【1番】

まだそこまで広がってない状態のときの裁判だったんですけど、それでも、ちゃんとアルコールとか用意していただいて、ドアノブの消毒もしていただいたということで、すごく安心して臨めました。

もともと法廷内も結構距離があるなと思ったのと、密になる場所というのがなくて、エレベーターの移動はすごく密だなと思うぐらいで、あとは常に距離が保たれている状態だったので、本当に何もコロナの心配なく、担当させていただくことができたなと思います。

そのときは、私のときは評議室にお菓子を用意していただいて、それを食べながら楽しくお話ししてたという感じだったので、その休憩時間に話をするのがすごく、裁判官の方々の情報も聞けたりとか、普段話すことのない内容を話せたので、すごく勉強になったんですね。コロナのその前でよかったなって、今、聞いて思いました。話ができなくなる、黙って過ごしましょうというんだったら、ちょっと得るも

【機密性 2】

のが少なくなってしまうので、休憩時間の話の時間を私は大切にしていたというか、すごく良かったなと思ったので、それがなくなる前で良かったなというふうに、今、聞いて思いました。

【司会者】

ありがとうございます。2月に実施された方は、コロナ対策の全部はまだ行われてないときだったので、やってるものとやってないものがある時期だったと思います。2番の方、お願いします。

【2番】

1番さんとほぼ一緒なんですけど、アルコールとか、そういうのを準備していただきましたし、マスクも結構半分ぐらいの方がずっとマスクしたまま評議していました。あと、窓も開けてました。コロナがだんだん市中感染が広まってきたと同時に、みんなでちょっとテーブルの間隔を空けて、ソーシャルディスタンスを取ろうというふうにしたんですけれども、ちょうど2月、3月で、スギ花粉の時期だったので、窓を開けてるとかえってきつい人が半分ぐらいいて、私も花粉症だったので、コロナより、スギ花粉のほうがきつかったです。

【司会者】

ありがとうございます。3番の方、いかがでしょうか。

【3番】

僕の時期は3月だったんですけれども。最初の時点で消毒もありましたし、マスクもしてました。確か初日に裁判長が法廷にいるときはマスクしてくださいと。ただ、評議室はしてもしなくてもいいですよというようなことをおっしゃっていて、あと、換気は休憩中、毎回、1時間に1回ぐらいですかね、してるような状態でした。

ただ傍聴席とか普通にまだ間隔も空いてる状態じゃなくて。判決の日ですかね、そのときは今まで使ってた法廷じゃない広い法廷に移動して、間隔を空けてやるような感じでやってました。なので、先ほどのお話の、従前とその後で待遇がだいぶ

【機密性2】

変わってるなというのを聞いてて、すごく感じました。以上です。

【司会者】

特に不十分なところはなかったということによろしいでしょうか。

【3番】

そうですね。裁判員裁判の間は、触る所を消毒するとかってというのは、確かやってなかったと思うんですよね。法廷に行くエレベーターもみんなぎゅうぎゅうで入ってましたし。まだソーシャルディスタンスとか、密というのが、今みたいに認知されてない状態だったので、仕方がないのかなという気はしました。

【司会者】

4番の方、いかがでしょうか。

【4番】

今、私も先ほどの話を聞いて、おやつとかが出てたんだなというのを聞いて驚きました。私も消毒とか、そういうのは徹底されてて、換気もやっぱり皆さん言われたとおりにやりましたし。

ドアもほとんど裁判官か担当者の方が開けてくれて、私たちは触らないようにしましたね。エレベーターも3人とか4人までで移動してくださいということでやりましたので、問題ないと思います。

【司会者】

5番の方、いかがでしょうか。

【5番】

私の参加した5月下旬のときには、もうパーテーションの設置などがされて。ただ再開されて何件目かくらいだったと思うんですけど、裁判官の方がまず、席を空けることについてですとか、パーテーションを立ててることについてですとか、傍聴席についても1席ずつ空けるようにしてるとか、以前と環境を変えているんですよという御説明などを常々していただいたり、休憩をなるべく取るように、流れをいつもと変えてるですとか、時間もなるべくかからないようにされてるというこ

【機密性 2】

とはおっしゃっていただいていたので、普段より大変な作業をされてるんだなというのを、皆さんで話してました。

皆さん手探り状態で多分始められたんだと思うんですけど、大変だったんだろうなというのは感じました。

【司会者】

特に不十分と感じられたことはなかったということですね。

【5番】

そうですね。コロナ対策で不十分ということはあまり感じなかったんですけど、やはり絶対、皆さんマスクしなきゃいけないということで、表情が見つらいじゃないですか。そこは難しいなと思いました。目の周りの部分でしか汲み取れないので、表情ってビビッと感じるものって、やっぱりあるじゃないですか。それが見れないのがすごく。改善できることではないので、難しいなと思いました。以上です。

【司会者】

今の発言は、別にマスクしなくてもいいという御趣旨ではなくて、マスクしなければいけないという前提でやはり難しい点があるなど、そういう御趣旨ですか。

【5番】

はい。

【司会者】

6番の方、いかがでしょうか。

【6番】

私も裁判所のコロナ対策としては、完璧にちゃんとされてるなという印象を受けました。消毒とか、マスク着用、三密を避けるということでちゃんと席が離れていて、裁判官の方も一番前と一番後ろの席に座られたりとか、結構工夫をされたりしていました。

私がちょっと残念だったのは、逆に、以前は例えば千葉県庁の上のレストランに裁判官の方も裁判員の方もみんな行って、お話をしながら昼食会ができたというこ

【機密性 2】

とでした。そういうお話もそのときに聞いたんですけれども、それができなくて残念だったなと思いました。ただ、マスクしてるからといって、お話が全くできなかったわけじゃなくて、裁判官の方とも結構親しく、いろいろと本当に気さくにお話をさせていただいたりして、それは本当に勉強になったし、楽しかったなという印象はあります。

【司会者】

8番の方、どうぞ。

【8番】

コロナ対策の件は、2月、3月の方とは違い、その当時としては当然かなと思ってました。ただ、今後だと、マスクじゃなしにフェイスガードでもいいのかなというのは、ちょっと思ってます。それぐらいです。

【司会者】

ありがとうございます。

次の話題に移りたいと思います。裁判員を務められた感想を、今度は実際に御担当された事件の中身等も含めまして、どういう感想をお持ちだったか、それなりに参加して、こういうところが何か自分の中で変わったということがもしおありになれば、そういうところをお伺いできればと思います。1番の方、お願いします。

【1番】

私が参加させていただいた裁判の事例が、中国人の覚醒剤の密輸だったので、通訳さんを介しての裁判でした。その際に、やはり通訳を介してだとニュアンスもちよっと微妙に違うのかなと思ったり、いろいろ証拠物の訳し方も、訳し方によって考え方が変わってくるのかなという部分でちょっと難しさを感じました。

あとは、言ってることがちょっと嘘をついてる可能性があるということもあったので、その証拠を突き詰めなきゃいけないということで、その話合いのときに、裁判官の方がまずこの証拠をどうやって証言するかを説明してくださって、それについて深く議論することができたので、難しかったですけど、勉強になりましたし、

【機密性2】

こういう視点で話し合わなければいけないんだということが分かったので、とても有意義な時間でした。

あとは、先ほども言ったんですけど、休憩時間にいろいろ、日本の法律についてとか、法制度についてとか、裁判員制度についてとか、すごくいろんなことを教えていただいて、勉強になって、すごく質問もできたので、気さくに話していただけたことがすごくありがたかったです。

この裁判員に選ばれた、抽選に来てる人というのは、もともと裁判員をやりたいと思っている方も多いと思いますし、コロナのことは関係なくやりたいですとか、本当に関心がありますという方が、そもそも多いのかなというような印象をすごく感じました。

【司会者】

2番の方、いかがでしょうか。

【2番】

私は事件の内容を聞いたときに、先ほども言いましたけど、ちょっと私自身が動揺しまして、事件も結構テレビとかでやってたんで。

もともと、裁判員というものに対して自分は参加したかったんですけども、どちらかといえば裁判員制度には否定的でした。というのは、皆さん勉強されて資格を取られて裁判官なり、検事さんなり、弁護士さんなりになられてるわけで、我々素人がそれに参加して意見を言うことはいいとして、刑を決めるということに対してすごく抵抗があるんですね。それは最初からそうでしたし、今もそうなんですけれども。

実際、裁判に参加してみて、やはり感情が出てしまうんですね。証拠写真とか、いろんな証人のお話、あと被告人の話聞いて、憤りを覚えることもありますし、その自分の感情をなくして、自分で意見をするというのにとっても抵抗がありました。

あと、皆さん言ってたお茶とかおやつですね。私もいっぱいいただいたんですけども、そのおやつもそうですし、我々に対する報酬、交通費、それに対するお金

【機密性2】

が発生してしまうのもどうなんだろうというのと、我々裁判員がないで、裁判官3名の方で話し合っていけば、もっとスムーズに行くんじゃないのかなとか、そういうのは考えてましたし、今も考えてます。ただ、私、個人的にはとてもいい経験になりましたし、やってみたいのは、またやってみたいなとは思ってます。

【司会者】

2番さんは、参加される前は、裁判員制度自体にやや疑問を持たれていたということですが、それでも実際参加されてみると良かったと思われたのは、どういうところでそういうふうに思われたということなんでしょうか。

【2番】

自分の職業とかけ離れた仕事をしてみたいというのがちょっとありまして。裁判の傍聴とか、何遍か行ったこともあるんですけども。例えば私の職業と違って、皆さん難しい言葉で話されたり、そういうのを間近で見たいなというのがあったのと評議のときに例えば裁判官の方がこうしたいであろう意見をこっちに押し付けてきたりするのかなと思ったんですけど、そういうのもなく、我々の意見をすごく尊重してくれて、ああ、うまく、話をまとめるのが上手だなとか、そういうのは思いましたね。

【司会者】

そういう点では、御自身の役に立ったということですね。

【2番】

そうですね。コロナの影響もあって、私、早期退職制度というのが会社で出まして、今回、早期退職をしたんですよ。次の職はまだ決まっていはいないんですけども、転職してみようかというふうに思ったのは、裁判員になって、違う職を見て、思いましたね。

【司会者】

3番さん、いかがでしょうか。

【3番】

【機密性 2】

僕が担当したのは殺人だったんですけれども、もともと裁判員裁判に参加したいというふうな思いがずっとあった一方で、自分が担当する事件がそういう内容だったので、人の一生を決めるかもしれない判断をしなければいけないということに対しての責任の重さというのは、毎回、毎回、すごく思いました。被告人の話、証人の話、検察官の話とか、いろいろ聞いて。プロの方の意見と我々素人の意見でギャップがあるのかなというのは思ったんですけれども、そのギャップを埋めるための証拠を出して、そういったのがやっぱり全然別世界のことだったので、そういったのが見れたのは非常に勉強になったなというふうに思いました。以上です。

【司会者】

ありがとうございました。4番の方、いかがでしょうか。

【4番】

私も1番さんとほぼ同じような事件で、外国人女性3人の覚醒剤密輸事件でした。通訳を介すとニュアンスが伝わってくるまでにちょっと間が空くんで、難しさもありましたし、あと、被告人が3人とも泣いたり、反省してる様子を見せるんですけれども、ある一方で、3人の弁護士さんのやり取りを聞いてると、弁護士さん同士で攻めるんだなというのも、今回分かって、テレビではないなと感じました。

でも、私はもともと日本の法律というのはちょっと甘いなというのをずっと思っ
てまして。かといって、今回こうやって参加したからって、私の意見で、資格のない私たちが判決で刑を重くするとか、そういうのは当然できないんですけれども、やはり最近の事件でも芸能人とか保釈金積みば出てくるとい、罪をお金で解決して出してくれるんだというのも納得いかないですし。それ相応の判決というのがどうも、今でも納得いってないんですけれども。まあ、一応経験としてはそういうのが、弁護士さんは、なんで犯人の弁護をするんだって今までは思っていたんですけれども、やっぱり話を聞いたり、長い期間で被告人3人のあり方も分かってきて、ああ、これは一概にはいえないなというのが分かってきましてですね。3人それぞれ違う判決だったんですけれども。

【機密性2】

あとやっぱり日頃裁判長とかの人も結構気さくに話しかけてくれて、何か質問ないですかと言われるたびに、私は結構質問していました。私、警視庁24時とか、あの番組関連をすべて見ているんですけど、テレビや映画とは違うなというのがやっぱりありまして。いろいろ、今回勉強になりましたし、できれば、殺人、いろいろな犯罪がありますが、いろんなのを経験してみたいなと思いました。

【司会者】

じゃあ1回で十分というのではなく、もっと更に機会があればというお気持ちなんです。

【4番】

ええ。だから裁判長の人に何か質問ないですかと言われるたびに、京都のほうの放火殺人の、ああいうのはどのくらいになるんですかとか、死刑になるんですかとか、いろんな案件、その当時出た案件で、私的には子どもを放置して熱中症で亡くなるというのは、あんなのは殺人じゃないの、そういう個人的な意見も裁判長と話したりしてですね。意外と休み時間とか休憩でもそういう話をしたりして、すごくいろいろ勉強になりました。

【司会者】

ありがとうございます。5番の方、いかがでしょうか。

【5番】

私も1番と4番さんと同じように覚醒剤の取締案件で、被告人の方が罪を認めていない状況だったので、自分がそれを受け止められるのかということに、まず心配がありました。実際、事件の内容を聞いて、審理でやり取りを聞かせていただいて、テレビで見てる流れより、もっと脚色していない、静かに落ち着いた話が続いているというのも、当然といえば当然なのかもしれませんが、急に証拠を出してきて、これ何とかと言って突きつけたりすることとかいうのはないんだなというのが分かりました。裁判官の方とかも実際にテレビではこういうふうやってるけど、そんなことないですよとかっていうのをお話しいたいたり、事件の流れに関して

【機密性 2】

いろいろ説明を加えてくださったりしていて、私も 2 番さんと同じで、裁判員を行う意味は正直あまり分かっていなかったというか、あまり賛成派ではなかったのですが、実際 6 日間、最後の判決の日までかなり悩んだので、一人一人の罪を決めるということの重さを日頃の生活環境から一変して、こういう立場を賜ることになったので、すごく重い 6 日間を過ごさせていただきました。自分の意見、こうこうとすることによって被告人の刑期なり判決が変わってしまうということにすごく負担をやっぱり感じました。他の裁判員裁判に参加された方のように、それこそ殺人罪とかに向き合ったときに、今回よりももっと気持ちの傷が重かったのかなということを見ると、取り組むのにちょっと難しい面が多いなどは感じました。

担当されている方、皆さんと途中の休憩時間にもお話もしましたし、やっぱり言ってることおかしいよねとか、そういう話もできたので、ざっくばらんにそういう意見交換ができる場であったので、評議の時間はすごく充実したものだったんですけども。今回、私の担当した被告人が外国人の方だったので、やっぱり通訳さんが入られて、通訳の方が話している間に被告人の表情を見れたり、先ほど言っていた話、こうだったかなとか、昨日の質問に対してどういうことを訴えていたかなということ、その時間の中に何度も繰り返してみたりとかして考える時間があったので、被告人が日本人であった場合は、テンポに付いていくのがなかなか難しかったなと思いました。通訳の間に少し考えたり、資料を見たりすることができたので、だいぶ追いついてはこれたかなとは思ったんですけど、それがなかったら、もっとアップテンポに感じたと思うので、素人には難しい言葉とかが出てきたときに対応するのがちょっと難しかったのかなというのは感じました。以上です。

【司会者】

6 番さん、いかがでしょうか。

【6 番】

私は、全く法律とかを知らない素人がどうやって裁判の量刑とかを決めるのかなというふうに思っていたんですけども、実際には控室のところで過去のいろんな

【機密性2】

事例の説明があったり、同じような例をいろいろ挙げていただいて、説明を受けたりということがあって、こういうのだったら、懲役何年だとか、罰金がどのくらいなんだというようなことが分かって、裁判員も裁判官3人の方がいらっしやったんですけれども、票が同じというか、価値というか、平等に一人1票というような感じで、裁判員も裁判官も同じ比重だったなというふうに思いました。そういうことで、非常に裁判員を大事にしているんだなという。裁判官の専門的な知識を押し付けるわけではなく、その判断を押し付けるとかいうことではなくて、丁寧に説明をしていただいて、裁判員の方が素人なりにその判断が下せるような状況をちゃんと作っていただいたかなというふうに思いました。それで裁判員制度のやる価値があるのかなと。要するに素人は素人なりのいろんな社会判断というんですか、そういうのがありますので、あるいは日常的にはこうだとか、あとは感情とか、いろんなことがあるんですけれども、普通はこう考えるとか、そういうことを言ってもいいのかなという感じだったんですね。

それで裁判所に今まで来ることもなく、裁判官あるいは弁護士さんとか検事さんとかいうのは頭のいい方ばかりで、雲の上の存在というんですかね、とても偉い方だというふうに、お堅い方たちの集まりかなぐらいに思っていたんですけれども。それが実際には裁判に参加させていただいて、特に裁判官の方とはとても親しく話をさせていただくことができ、すごく意識が変わったんですね。すごく親しみを勝手ながら持たせていただいたというか、それはとても良かったかなというふうに思いました。

【司会者】

8番の方、いかがでしょうか。

【8番】

補助なので有罪か無罪かの最後の結論は出せなかったんですけれども、言い方はおかしいかもしれないですけど、楽しく評議させていただいたし、あと、弁護士の方とか検察官の方のお話の中で、ちょっと、おーっと思うようなこともありました

【機密性 2】

ので、非常にいい経験をさせてもらったなと思います。こういうことはもう二度とないんじゃないかなと、非常に良かったなと思ってます。以上です。

【司会者】

ありがとうございます。

それでは、最後になりますけれども、また最初の私の疑問に戻りたいと思います。今コロナであるがゆえなのか、それともコロナ禍であるにもかかわらず、なのか、裁判員に参加されたいという意欲を持たれる方が増えていて、かつ実際参加される方が増えているという現状、これについて、皆様、今日の議論を聞いていて、ということが原因だと思われるのか、また、そういう状況でこれから裁判員になられる方に対しては、どういうことを経験者として言いたいかということをお伺いできればと思います。では1番の方。

【1番】

コロナでリモートワークとかがすごく進んで、働き方も変わっていく中で、多分コロナが終わっても、そうなるのかかなと思ったら、これからはどんどん裁判員裁判に参加しやすくなるんじゃないかなと思います。なので今までみたいに本当に毎日電車出勤という状況だったら、5日間とか、裁判に出席するのがすごく厳しいと思うんですよ。でも、それがコロナでいい意味で参加しやすくなってるのかなというのと、あとは意見を言ってみたくなるというか。ステイホームとかになっちゃうと、いろいろ考えることもあって、あとはちょっと心に余裕ができる、仕事とかの面でもちょっと余裕ができて、やっぱり参加してみようかなって逆に思うのかなというふうに思いました。

【司会者】

今後裁判員になられる方へのメッセージとしては。

【1番】

今回参加してみて、ちょっと難しいかなと思ったんですけど、全然法律とかの知識がなくても、裁判官の人が分かりやすく説明してくれて、どういう視点で話し合

【機密性 2】

うのかというのも全部提示してくれて話し合うので、問題なく進められたのと、あと検察官側の方も弁護士さん側もすごく分かりやすく資料を提示してくれたり、写真、パワーポイントでまとめてくださったり、現物を見せてくださったりするので、本当に何も分からなくても、分かりやすく説明してくれた上で議論することができるので、安心して参加してほしいなというふうに思います。あと、送られてきたパンフレット、同封されていた資料も事前に読んでおくことで見通しを持って参加できたので、あれを読んだ上で参加すると、また心に余裕を持って話合いに参加できるのかなというふうに思いました。人生にプラスになったので、楽しんでといったら変ですけど、充実したものになるので、是非参加してほしいなと思います。以上です。

【司会者】

ありがとうございます。2番の方、どうぞ。

【2番】

今後、裁判員になられる方、裁判員制度には私は否定的ではあるんですけども、裁判員になって、先ほども言いましたけど、とてもいい経験だったし、堅い雰囲気ではなく、普通の人間として人間の話合いに参加できたイメージがあるんですね。ですので、とてもいい経験になると思うので、是非くじ引きで当たった際は、経験していただいたほうがいいかなと思ってます。

コロナの影響で増えたという話なんですけれども、私、個人的にはやはり皆さんリモートワークとか分散出社とか、そういうので時間に余裕ができたのと、金銭的にやっぱり賃金が減ったとか、そういうものの補填とかって考えている人もやっぱりいるのではないかなというのにはちょっと思ってます。

【司会者】

ありがとうございます。3番の方、いかがですか。

【3番】

普通の一般市民というのは、裁判に携わるなんて基本的にほとんどなくて、一方

【機密性2】

で事件、事故で裁判があつて、一般市民の感情とプロが判断した判断にギャップが多分あるので、その判決はおかしいんじゃないのというふうに思っている人が、やっぱり少なからずいるから裁判員裁判の制度があつて、そういう参加できる機会があるということはすごくいいなというふうに今は思つてて。で、今回、一生に一度あるかないかの機会に参加でき、非常に有意義に過ごすことができたなというふうに思っています。

メッセージとしては、もしそういうチャンスがあるのであれば、人生の糧になる経験になると思うので、是非参加してほしいなと思います。以上です。

【司会者】

4番の方、いかがですか。

【4番】

やはり、先ほど皆さんが言われたように、リモートワークとか時間に余裕ができて、なおかつ、テレビとかニュースとかの影響があるのか、やっぱりやってみないと、それが増えてる結果だと思います。

あとは、私もいろんなものを経験したいという意欲がありまして、次になられた方も、自分で本来、一般市民としてテレビとかそういうものでしか感じられなかったことを、本当の本番で見て体験できるいい機会になると思います。私も今回直接被告人に質問ができるというのもびっくりしました。私もまた選任の通知が来たら応募しようと思つています。

【司会者】

5番さん、いかがでしょうか。

【5番】

私は、あの通知が届いたら来ないといけない義務なんだと思ったので、正直関心があつてという意味で参加したわけではなかったのですが、このコロナの状況で、そもそも当日に来ることがかなわない、仕事の都合上難しいのであれば、お断りできるのであればお断りするつもりでした。ただ、入社せず仕事ができるような環境で、

【機密性 2】

時間を作ることができただけだったので、自発的に参加される方が増えたのであれば本当にすごいことだなと聞いていて感じました。

自分の会社に勤務してから、数日間会社を空けたことがなかったので、会社から休んでも大丈夫と言われてしまうこともあまり嬉しくないといえますか、抜けても大丈夫だよってと言われてしまうのもどうなんだろうという気持ちもちょっとありました。今回、自分が会社員の立場で参加するということに対して、それだけの時間の都合を周りにつけてもらわなければならないということを考えさせられたいい機会でした。内容的にはすごく自分の経験しないことだったので、とても勉強させていただきましたし、プラスになったと思う点がすごく多かったのと、本当に自分の環境や周りの環境についても大変考えさせられる機会を頂戴したと感じていました。

今までそういう機会に恵まれなかった方も、その通知が届いた時点で、最初は多分嫌だなと思う方も私同様いると思うので、ただ、いただいている資料をまずはちょっとのぞいてみようかなという気分で、まず来られてみてもいいのかなと思いました。以上です。

【司会者】

積極的にやってみたいと思われる方だけじゃなくて、ちょっと抵抗のある方も試しにどうでしょうかということですね。

【5番】

はい。

【司会者】

6番さん、いかがでしょうか。

【6番】

なりたい方が増えているということですが、私ははっきりとしたことは分かりませんが、確かにリモートワークなんかで時間の余裕ができた方も増えているということも一つの理由かもしれませんし、あるいはテレビなんかで刑事ドラマをよ

【機密性2】

くやっているのです、こういう裁判に興味のある方が多いんじゃないかなというふう
に思います。

これから裁判員になられる方に対するメッセージですけれども、素人でもある程
度ちゃんと説明していただけて、判断材料があつて、それで人生経験としていろん
な貴重なことを教えていただいた上での裁判員なので、本当に選ばれたら、是非是
非、参加していただきたいなというふうに思います。

【司会者】

ありがとうございます。8番の方、お願いします。

【8番】

せっかくこういう制度ができたので、それに嫌な方もたくさんおられると思いま
すけれども、参加してみてもいいんじゃないかなというふうに思います。裁判はこ
ういうものだというのが分かれば、また新しい経験ができるからいいんじゃないか
なというふうに思いますし、実際、私は営業とか設計関係の仕事しかしたことがな
いので、こういう場所に出れたことを本当にありがたく思っています。先ほども、
ちょっと言葉が良くないんですけど、楽しい時間を過ごさせていただいたので、も
っと気楽に考えて、お仕事の都合もあるかもしれませんが、できるだけ参加
されたほうがいい経験ができるんじゃないかなというふうに思います。

【司会者】

今日は皆様、本当にお忙しいところ裁判所においでいただきまして、ありがとう
ございました。今日は裁判所のコロナ対策と裁判員への参加ということで、皆様か
ら本当に忌憚のない御意見、率直な御意見をいただきまして、本当に我々も勉強に
なりました。これから法曹三者としても皆様の御意見を糧にして、一層、裁判員制
度がより良いものになるよう、努力してまいりたいと思います。本日は、本当に長
時間にわたりまして御協力、ありがとうございました。

以 上